

## 第3学年 英語科学習指導案

日時 平成30年10月11日(木) 5校時  
学級 3年2組 男子18名 女子14名 計34名  
場所 3年2組教室  
授業者 教諭 三浦 美和子(T1) 高原 恵子(T2)

1 単元名 Program6 Let's Talk about Japanese Things (Sunshine English Course 3)

### 2 単元について

#### (1) 教材観

この単元には、生徒たちが日本の美術作品や伝統的なおもちゃについて調査して報告する場面や、町内のお祭りに連れてきた外国人留学生に、祭りの場面やそこで見かけるものを英語で説明する場面がある。それをモデルに、日本の文化を再認識したり、相手意識を持って日本のものを紹介する文章を書いたりすることが、本教科書の表紙テーマ「日本を世界に発信しよう」につながっていく。

本単元で扱う主な文法事項は、現在分詞と過去分詞を用いた後置修飾である。修飾される先行詞と、現在分詞や過去分詞が主語と述語の関係にあることを理解させた上で、英語独特の「後ろから前を修飾する表現」の一つのとして定着を図りたい。

#### (2) 生徒観

本学級の生徒は、比較的点数の上下差が小さく中位層が厚い傾向にある。グループ活動においては小リーダーが機能し、活動の進行や意見のとりまとめを自分たちの手で行おうとする意欲がある。しかし、発音や発表においては、一部消極的な生徒がおり、声が出るまで時間を要する。またで、1つの文だけであれば読んだり書いたりすることはできても、ある程度まとまった量の文章を書くとなると、かなりの困難を感じる生徒が多い。そのため、まとまった文章を書かせるためには、モデルとなる文章から、段階的な手立てを取って生徒自身が表現したい内容に繋げていく工夫が必要である。

#### (3) 指導観

生徒たちは、1年生で現在進行形と受動態の学習をしているため、現在分詞は「～している」過去分詞は「～される」の表現に使われる語句であるとのイメージは持っている。そこから、名詞の前に分詞が置かれて形容詞的に使われる場合と名詞の後に分詞と語句が置かれる場合があることを区別して理解させたい。そのために、口頭練習の際に複数のパターンのフラッシュカードを準備して、慣れさせたい。また、文脈の整った文章を作らせるために、教師のモデル文を与えた後に定型フォームを見せたり、一度書いた紹介文を他の人やALTに読んでもらい、書き足しのアドバイスを聞く時間を設定したりして、生徒自身が書きたい内容までたどり着けるように、支援したい。

〈ユニバーサルデザインの視点から〉

普段の授業では次の点に配慮して、進めるようにしている。

##### ① スパイラル化

習ったことを繰り返し思い出せるように、単語リストを帯活動で繰り返し学習したり、時間をおいて復習プリントをしたりすることを取り入れている。

##### ② 焦点化

本時の初めに目標と本時の流れをマグネットで提示し、その時間に学ぶことを具体的に見通

せるようにする。

③ 視覚化

文型練習の際に、音声と文字・イメージを結びつけるために、写真や絵・単語をTV画面やカードを使って、視覚に訴える。

④ 共有化

ペア学習やグループ学習を取り入れ、お互いの理解度を確かめたり、意見を交流し合ったりして、助け合って学習を進める。

⑤ スモールステップ化

ITであることを生かし、生徒自身が習熟度に合わせて、学習プリントや発問・与える情報量を選択できるように準備する。

⑥ 適用化

応用問題を取り入れながら、修得したことを当てはめて自己表現をしたり、実生活で生かたりする場面を設定する。

### 3 単元の目標

(1) 日本文化について再確認し、その良さを英語で表現する。【表現の能力】

(2) 相手意識を持って、日本のものの紹介文の構想を考えることができる。【理解の能力】

(3) 現在分詞、過去分詞による後置修飾の意味と用法を理解し、人やものについて情報を追加して説明することができる。【言語や文化についての知識・理解】

### 4 単元の指導計画と評価規準 (全7時間)

時間	学習内容と活動	関心・意欲・態度	表現	理解	知識
1	ALTの友だちに、おすすめの日本土産を紹介するために、必要な情報や表現を考え、構想をまとめる。	外国人の立場に立って、紹介文の構想を考えることができる。		誰が、何のために、どんな情報が必要なのか理解することができる。	
2	現在分詞の後置修飾を学習し、日本的なものを紹介する練習をする。		現在分詞の後置修飾を使い、ものや行事の説明ができる。		現在分詞による後置修飾の意味と使い方を理解している。
3	過去分詞の後置修飾を学習し、日本的なものを紹介する練習をする。		過去分詞の後置修飾を使い、人やものの説明ができる。		過去分詞による後置修飾の意味と使い方を理解している。
4	鳥獣戯画・けん玉・盆踊りの会場を説明する英語を読み、日本的なものの紹介に使う表現や前後に付け足す表現をまとめる。			鳥獣戯画・けん玉・盆踊り会場を説明するまとまった量の英文を読み、内容を理解できる。	紹介文に使われる表現や相手の理解を深める文章構成に気付いている。

5 本時	外国人に薦めたい日本土産について、現在分詞と過去分詞の後置修飾を含む紹介文を書く。		外国人に薦めたい日本土産について、現在分詞・過去分詞の後置修飾を用いて紹介文を書くことができる。		
6	ALT に日本土産の紹介文を聞いてもらい、付加・修正のアドバイスをもらう。	積極的に発音練習や付加・修正のアイデアを出すことができる。			間違いに気づき、正しい英文に直すことができる。
7	紹介文を清書し、ALT に渡す。 いくつかの日本土産の紹介文を、ヒントを元に書いて整理する。		必要な情報を整理し清書することができる。		日本語のメモを参考に、他のグループの紹介文も書くことができる。

## 5 本時の指導

### (1) 本時の目標

おすすめの日本土産について、現在分詞と過去分詞の後置修飾や既習表現を組み合わせて、紹介する文章を書くことができる。【表現の能力】

### (2) 指導の構想（本時における UD の主なポイント）

本校の研究課題との関わりから、本時は特に以下の UD の視点を意識して授業を組み立てる。

#### ① 視覚化

現在分詞と過去分詞による後置修飾の復習場面では、文法のポイントや文型練習の内容を示すイラストを画面に映し、イメージと文字の一致を図る。また、紹介文を作成する際も、教師のモデル文を画面に映しておき、いつでも文章の構成を確認できるようにする。

#### ② 共有化

導入時の語句ドリルと文型練習はペア活動、紹介文作りはグループ活動とし、お互いの達成度を確かめ合ったり、意見を交換したりする場を設定する。

#### ③ スモールステップ化

紹介文を書かせる前に、口頭練習を十分に行い、英文の書き出しをイメージできるようにする。また、紹介文を書く際には2種類の難易度のプリントを準備し、自分の習熟度に合わせてプリントを選ばせる準備をしておく。

(3) 本時の展開

	学習内容	学習活動	・指導上の留意点 ※教師の動き (T1, T2) ★評価	UDの視点
導入	1. Greeting 2. Word exercise 3. Review	・あいさつをする ・単語リストを使い, 重要語句の発音・意味・綴りを覚える ・絵を見ながら, 後置修飾(現在分詞・過去分詞)の英文を発音する	※ペアの指定, 役割の交換を素早く行うよう支援する (T1, T2) ※使用する絵と語句の一部を見せる (T1)	共有化 (ペア活動) 視覚化 (絵)
現在分詞・過去分詞の後置修飾を使って, 日本土産の紹介文を作ろう				
発展	4. Teacher's Model	・モデルを聞き, 紹介文の内容・文章の流れ・使われている表現を理解する	※モデル文を提示する (T2) ※画面に英文を映し, 絵を黒板に貼る (T1)	視覚化 (絵)
	5. Practicel "Speaking"	・モデル文を参考に, いくつかのお土産を, 口頭で説明する (全体⇒列ごと⇒ペア)	※支援が必要な生徒には, モデル文の穴埋めシートを渡して, 理解を促す (T2)	スモールステップ化 (口頭練習から英作文へつなぐ)
	6. Practice2 "Writing"	・グループごとに, おすすめの日本土産の紹介文を書く	・基本のモデル文に, 既習の表現をプラスしてもよいことを伝える ※机間指導 (T1, T2)  ★おすすめの日本土産について, 現在分詞や過去分詞の後置修飾や既習表現を組み合わせ, 紹介する文章を書くことができたか。 【表現の能力】	共有化 (グループ活動)
終末	7. Reflection 8. Greeting	・数グループの発表を聞く ・あいさつをする	・本時の学習で使用した表現をピックアップする	視覚化 (絵)

